

心 かがやき

題字／旭岡聖順

第24号

平成30年9月1日

(公財)佐野市民文化振興事業団
〒327-8501

栃木県佐野市高砂町1
(佐野市役所文化立市推進課内)

電話 0283-20-3044

<http://kagayaki.sanocity.jp/>



作品は南児童館に展示中

「よだかは、実にみにくい鳥です」から始まる宮沢賢治の『よだかの星』のお話を読み聞かせ、子ども達はそこからイメージしたお話を一枚の絵にしていきます。

文星芸術大学名誉教授の林香君(はやしかく)さんを講師に迎え、昨年「壁画アートプロジェクト」を佐野市南児童館で初めて開催しました。慣れない作業に苦労しながら、子ども達はお話の美しい結末に負けない素晴らしい壁画を作り上げました。

当事業団は、芸術・文化に触れる機会を提供することを目的にした体験事業を、今後も実施して参ります。

主な記事

- 理事長あいさつ 佐野正行 1
- 助成団体のご紹介 2
- 平成29年度事業報告 3
- 平成30年度事業計画 4
- 平成30年度助成事業 4

- 財団保有美術品の紹介 5
- 平成31年度助成事業の募集 5
- 美術館・博物館へ行こう 6
- これからの事業 (裏表紙)
- イベント応募方法 (裏表紙)

理事長あいさつ



公益財団法人

佐野市民文化振興事業団

理事長 佐野 正行

この度、公益財団法人佐野市民文化振興事業団の理事長に選任されました佐野正行でございます。当事業団は平成24年4月1日より公益財団法人の認定を受け、前任の太田哲夫理事長のご指導の下に、市民の芸術・文化活動の振興、文化的環境整備のための諸事業を実施して参りました。昨年12月23日に太田様はご逝去されましたが、事業団設立以来、物心両面において多大なご尽力をいただきました。改めて衷心から敬意と感謝の意を表するとともに、心よりご冥福をお祈りいたします。

さて、平成29年度の当事業団の活動状況ですが、歌舞伎鑑賞教室を始めとする各種事業を計画通りに実施することができました。その中でも特筆すべきものとして、文星芸術大学名誉教授の林香君先生のご指導による「壁画アートプロジェクト」があります。宮沢賢治の童話『よだかの星』の物語を子ども達の

感性を通して、一枚の色彩豊かな壁画に制作するというものでした。

一方、当事業団の活動原資は、債権運用の金利収入で賄っておりますが、長期化している超低金利の下で金利収入は、依然として厳しい状況にあり、事業活動の見直しが課題となっております。なお、本年度は、役員の任期満了等によりまして、新たな理事・評議員が、5月31日に開催された評議員会において選任されました。新たな理事に旭岡靖人様、任期途中の退任に伴う補欠選任として評議員に佐藤三武朗様、矢島堅司様がそれぞれ就任されました。他の方々は留任となります。最終的に理事の皆様の中から私が理事長に、落合正様が専務理事に選ばれました。



5月31日 定時評議員会風景

ご退任されました評議員の渡邊昭様には、永年にわたり、事業団運営への多大なるお力添えに対しまして、心より感謝申し上げます。また、事業選考委員は、新任の島田嘉内様、小野勉産業文化部長を含め6名の方が選任されております。理事・評議員等、それぞれの構成員については、当団報に記載しておりますのでご覧ください。

おわりに、佐野市は昨年「文化立市」を掲げましたが、当事業団も新たな体制の下、市民の文化的環境の向上に努力して参る所存です。市民の皆さまには、今後とも当事業団の文化事業に対しまして、一層のご支援・ご協力をいただきますようお願い申し上げます。ご挨拶とさせていただきます。

貸借対照表

平成30年3月31日現在(単位:円)

科 目	金 額
I 資産の部	
1.流動資産	3,218,719
2.固定資産	
(1)基本財産	503,553,354
(2)特定資産	421,709,835
(3)その他固定資産	20,010,001
固定資産合計	945,273,190
資産合計	948,491,909
II 負債の部	
1.流動負債	0
III 正味財産の部	
1.指定正味財産	899,732,720
(うち基本財産への充当額)	503,553,354
(うち特定資産への充当額)	396,179,366
2.一般正味財産	48,759,189
(うち基本財産への充当額)	0
(うち特定資産への充当額)	25,530,469
正味財産合計	948,491,909
負債及び正味財産合計	948,491,909

助成団体のご紹介

今回は、平成29年度に助成を行った2団体を紹介します。

佐野市民合唱団“Voice”

○団体のプロフィール

団体名：佐野市民合唱団“Voice”
代表者：関谷 秀明
団体の設立：平成4年(1992年)12月
設立目的：地域の音楽文化の向上と会員相互の親睦を図り、ひいては「音楽のある街づくり」を目指すことを目的とする。
会員数：51名



大きな刺激を受けることができました。最後ですが、佐野第九演奏会は佐野で管弦楽を聴くことができる唯一の演奏会です。この灯が消えることがないように、市民の皆様にはより一層のご支援とご協力をお願いします。

佐野市民合唱団“Voice”は前身を佐野市民第九合唱団として1992年(平成4年)暮れに発足し、翌1993年12月3日に第1回佐野第九演奏会を高関健率いる群馬交響楽団と行いました。以来昨年末まで25回の第九演奏会と20回の定期演奏会を重ねることができました。これひとえに、合唱音楽を愛する多くの方々のご支援と支えがあつてのことと深く感謝申し上げます。

また、1995年の第1回の定期演奏会を皮切りに、昨年まで20回の定期演奏会を行いました。定期演奏会ではオーケストラとともに演奏したり、日本を代表する指揮者にご指導をいただいたりして、合唱音楽の神髄を注入していただくなど、地方の合唱団にありながらもより質の高い演奏ができる団体を目指して工夫と努力を重ねてきました。2017年9月には、相澤直人氏率いる「あい混声合唱団」をご招待し感動的な演奏に接するとともに、ステージで合唱を共にすることができ、大きな刺激を受けることができました。

日本水彩画会安足支部

○団体のプロフィール

団体名：日本水彩画会安足支部
代表者：小竹 昇
団体の設立：昭和34年(1959年)4月
設立目的：日本水彩画会の支部として、地域水彩画愛好者が集まり、水彩画の研鑽と普及に努めるとともに生涯学習の推進と市民文化の向上に寄与することを目的とする。
会員数：50名



第110回記念展を迎えて

日本水彩画会安足支部長 小竹 昇

昭和34年日本水彩画会安足支部として創立され、皆様方のご支援をいただき110回の記念展を迎えることができました。記念事業として「画集の発行」、「水彩画研究会」、「子供絵画教室」を計画し実施いたしました。

「画集の発行」4月に支部員1人2点約100点の作品を載せ、記念画集を作成致しました。支部員を中心に、佐野、足利地区行政機関、日本水彩画会、近隣の支部及び、日頃ご支援をいただいた方々にお送りし、多くの方々から、有難い励ましのお言葉をいただき、後世への記念となりました。

「水彩画研究会」5月7日(日)会場を文化会館201会議室で、開催致しました。日本水彩画会本部より常務理事の女流画家 小野月世先生をお招きして、支部員の作品を的確に解りやすく、ご批評・ご指導い

ただき有意義な研究会でした。会場には先生の作品も展示され、支部員以外の絵画クラブの方々も多く参加され、熱心な研究会となり、105回本展では1名奨励賞を受賞いたしました。

「子供絵画教室」9月16日(土)佐野市文化協会によるイオンモールで開催した企画の一部として実施いたしました。当日、予想以上にたくさんの子供さんが喜んで参加。親子でお絵かきを楽しむことも少なく、子供の才能にびっくりする良い機会であつたと思います。子供たちは記念品をもらい、とても喜んでおりました。この子達から将来の水彩画家が誕生することを期待しております。最後になりましたが、佐野市民文化振興事業団より助成をいただきましたことに心より御礼申し上げます。

平成29年度事業報告及び収支決算

**当事業団は主催・助成事業並びに事業の後援を21件行いました
これらの事業に参加並びに鑑賞等された方は、のべ約8,000人でした**

自主事業(主催事業)

■演劇鑑賞教室事業

内 容 歌舞伎『一條大蔵譚』の鑑賞
期 日 平成29年7月3日(月)
場 所 国立劇場(東京都)
参加者 80人
参加者負担金 5,000円



■美術展示及び鑑賞事業

◆美術鑑賞ツアー

内 容 市内の美術館等をまわる
バスツアー
期 日 平成29年10月31日(火)
場 所 佐野東石美術館、
吉澤記念美術館、
安藤勇寿「少年の日」美術館
参加者 42人

◆モニュメント活用事業

内 容 モニュメントを活用した
「映像とダンスパフォーマンス
の夕べ」を開催
期 日 平成29年5月13日(土)
場 所 佐野市役所南側
モニュメント周辺
出演者 ヒグマ春夫ら5名
参加者 120人



助成事業

■芸術・文化活動助成事業

◆佐野市民合唱団「Voice」
第20回定期演奏会

期 日 平成29年9月10日(日)
場 所 佐野市文化会館
大ホール
主 催 佐野市民合唱団「Voice」
⇒詳細は2ページ参照

■芸術・文化に関する人材育成事業

◆子ども演劇サマースクール

期 日 平成29年7月27日(木)
～29日(土)
場 所 葛生あくとプラザ
講 師 加納朋之(文学座)ら
俳優7名
参加者 38人



◆平成29年度佐野市学校演劇祭へ

審査員を派遣
期 日 平成29年9月8日(金)
場 所 葛生あくとプラザ

◆壁画アートプロジェクト

内 容 宮沢賢治『よだかの星』の
物語を壁画として表現する
アート制作体験
期 日 平成29年8月2日(水)、3日(木)
場 所 佐野市南児童館
講 師 林香君
(文星芸術大学名誉教授・
陶芸家)
参加者 33人
⇒詳細は5ページ参照

共通事業

◆事業団報『かがやき』

第23号の発行

部 数 46,000部(市内全戸配布)

◆日本水彩画会安足支部第110回記念・
画集発行と研究会

期 日 平成29年5月7日(日)
場 所 佐野市文化会館
201会議室
主 催 日本水彩画会安足支部佐野地区

◆舞台裏方講座

期 日 平成30年3月17日(土)
場 所 佐野市文化会館、
葛生あくとプラザ
講 師 龍福孝明
(宇都宮舞台サービス)
参加者 6人

◆アートマネジメント講座

期 日 平成30年3月3日(土)、4日(日)
講 師 松井憲太郎
(富士見市民文化会館長)

・関連事業

第6回わいわいギャラリー

期 日 平成30年1月28日(日)
場 所 佐野市文化会館ホワイエ
ゲスト 江尻潔
(足利市立美術館次長・学芸員)
聞き手 末武さとみ
(佐野市立吉澤記念美術館学芸員)
参加者 80人



後援事業

平成29年度は、9事業を後援しました。

事業名	開催日	主催者名	参加者
R 293美術展2017 漂流一対話	H29 5/13-28	R 293美術展実行委員会	585
第111回日本水彩画会 安足支部展	9/1-3	公益社団法人日本水彩画会安足支部	774
佐野市民合唱団“Voice”第20回定期演奏会	9/10	佐野市民合唱団“Voice”	700
第9回さのクラシックコンサート 島田瑛子ソプラノコンサート ～新作歌曲とオペラへのいざない～	10/15	佐野市文化会館	819
第2回佐野少年少女合唱団♪dolce♪定期演奏会	10/22	佐野少年少女合唱団♪dolce♪	321
さの演劇塾第8回公演「macaca fuscate」	11/18-19	さの演劇塾、佐野市、佐野市文化協会	452
佐野第九合唱団第25回演奏会	12/23	佐野市民合唱団“Voice”、 公益財団法人群馬交響楽団	820
第112回日本水彩画会 安足支部展	H30 1/17-21	公益社団法人日本水彩画会安足支部	1,152
Happy Hunting Ground+朗読劇「空の村号」	2/10	佐野市文化会館	210

平成30年5月11日、31日に開催された、平成30年度第1回通常理事会及び平成30年度定時評議員会において、上記記載の平成29年度の事業報告及び収支決算(1ページに掲載)等が承認されました。

平成30年度事業計画

「すべての市民が優れた文化的環境のもと、潤いと活力のある生活を営める地域社会の創造」を目的に佐野市民の芸術・文化活動の振興及び芸術・文化への啓蒙啓発を図るため、次の事業を行います。

自主事業

■演劇鑑賞会

- ◆歌舞伎鑑賞教室 **開催終了!**
国立劇場の「7月歌舞伎鑑賞教室」を鑑賞
- ◆文楽鑑賞教室
国立劇場の「12月文楽鑑賞教室」(12/6)を鑑賞

■芸術・文化に関する人材育成事業

- ◆子ども演劇
サマースクール **開催終了!**
7/26～27の2日間開催
- ◆アートマネジメント講座・
わいわいギャラリー
⇒詳細は裏表紙へ

■美術品展示及び鑑賞事業

- ◆美術鑑賞・舞台裏方ツアー
⇒詳細は裏表紙へ
- ◆モニュメント活用事業
佐野市役所南のモニュメント『記憶としての構造—2015』を活かした事業を行う。
- ◆壁画アートプロジェクト
8/6～7の2日間開催 **開催終了!**

共通事業

- ◆事業団報『かがやき』の発行 平成30年9月1日発行、市内全戸配布、市内各施設へ設置
- ◆広報誌・インターネットの活用

事業のPRのために、市の広報誌や新聞、ケーブルテレビ等を活用し、市民への積極的な情報提供を行うほか、ホームページの充実を図り、事業・イベント情報を随時発信します。(URL: <http://kagayaki.sanocity.jp/>)

助成事業

今年度は2団体へ、合計20万円の助成事業を展開しています。

天明鋳物伝承保存会
天明鋳物の伝統技術資料
保存と継承活動

天明鋳物を後世に伝える
ための講座・研究会や
継承活動を通して実施



5月19日 中央公民館での講演会

全日本写真連盟栃木県本部佐野支部
創立45周年記念写真展
(佐野の身近な絶景と
文化財写真展)

7月20日～27日開催 **開催終了!**
来場者 809名



佐野市役所市民ギャラリーで開催

後援事業

平成30年度の事業の後援(7月31日時点)

事業名	開催日	主催者名	お問い合わせ
R 293美術展2018 「両毛の眼」	5/12-27 開催終了!	佐野市文化会館	(24) 7211
佐野市民合唱団“Voice”第21回記念定期演奏会	9/9	佐野市民合唱団“Voice”	(22) 0273
第3回佐野少年少女合唱団♪dolce♪定期演奏会	10/8	佐野少年少女合唱団♪dolce♪	(24) 0100
第10回さのクラシックコンサート 新井祐子ピアノコンサート	10/21	佐野市文化会館	(24) 7211

壁面アートプロジェクト



制作風景(昨年の様子)



当財団では、芸術・文化に触れる機会を提供する体験事業として、小学生の児童を対象とした「壁面アートプロジェクト」を昨年度から実施しております。

昨年は平成29年8月2日(水)～3日(木)の2日間、講師に文星芸術大学名誉教授の林香君さんをお迎えし、南児童館で開催しました。子どもたちに宮沢賢治の童話『よだかの星』を読み聞かせ、そのイメージを型紙とスプレーを使って、色彩豊かな1枚の壁面に仕上げるものです。子どもたちは、型紙の切り抜きや、スプレーでの彩色に悪戦苦闘しながらも、賢治童話の世界観を体現する素晴らしい作品を完成させました。

今年も引き続き、8月6日(月)～7日(火)の2日間にわたって開催され賢治の『やまなし』を題材にした壁面が完成しました。完成した壁画は会場となった西児童館に今年度中に飾られる予定となっております。

財団で保有している美術品を紹介します



「^{そん}蹲」は不定形の柔らかな曲線と膚により、和銚の優れた金質と重厚感を作品の中に凝縮し、内に秘めた力を釜から感じ取ることが出来るだろうかとの試みを繰り返す中で生まれた作品です

(第5回ルネッサンス鑄金展図録より抜粋)

※この作品は佐野市役所1階 佐野市紹介スペースに展示してあります。ご来庁の際にご覧いただけます。

作品名：和銚釜「蹲」(わづくがま「そん」)

和銚 縦25.8cm×横25.8cm×高17cm

(第5回佐野ルネッサンス鑄金展 第一部門優秀賞)

作者：江田 蕙 (鑄物師)

取得年月日：平成22年3月23日

平成31年度 助成事業募集

当事業団では、芸術・文化活動や伝統文化の保存継承を支援しています。

地域の特色を活かし、個性豊かな地域文化を創造する事業で将来性のあるものなどで、何十周年記念という規模の大きなものも対象となります。

但し、企業や学校のサークル・部活動は対象外です。また、行政等からの補助を受けているものについては、その補助額を除いた額の一部を助成対象とします。(最大10万円まで)

その他の要件はお問合せ下さい。

◆応募期限

平成30年11月26日(月)

◆応募方法

所定の用紙で提出します。

◆問合せ先

事業団 佐野市文化立市推進課
事務局 佐野市役所3階
(佐野市役所3階)

☎ 2013044



芸術の秋

美術館、博物館へ行こう!!

小さいもの展Ⅱ

— 小さな小さな化石が
解き明かす地球のこと —

7月14日(土)
～11月25日(日)

葛生化石館

栃木県佐野市葛生東1-11-15 TEL 0283-86-3332
<http://www.city.sano.lg.jp/kuzuufossil/>



放散虫化石の
拡大模型

第68回企画展

「天明鑄物師
— 伝説から飛躍へ —」

10月6日(土)
～11月25日(日)

佐野市郷土博物館

栃木県佐野市大橋町2047 TEL0283-22-5111
<http://www.city.sano.lg.jp/city-museum/index.htm>



紙本着色燈籠献上図
及び六角釣燈籠

円空

— 慈愛と祈りから
生まれた造形 —

9月14日(金)～12月18日(火)

佐野東石美術館

栃木県佐野市本町2892 TEL 0283-23-8111
<http://www.toseki.com/museum/museum.htm>



田村耕一

生誕
100年

佐野市人間国宝田村耕一生誕100年記念事業実行委員会ほか主催

- ・田村耕一陶芸館記念企画展
8/3(金)～12/16(日)
- ・吉澤記念美術館特別企画展
10/20(土)～12/9(日)
- ・記念講演会・シンポジウム
11/3(土) 文化会館
- ・陶壁再現プロジェクト
11/2(金)～12/2(日)
などを開催!



《黒釉流芒文大皿》1961年 東京国立近代美術館蔵

問合先

佐野市立吉澤記念美術館
佐野市葛生東1-14-30 TEL0283-86-2008

吉澤人形頭展

7月15日(日)～9月17日(月)

葛生伝承館

栃木県佐野市葛生東1-11-26 TEL 0283-84-3311
<http://www.city.sano.lg.jp/densyoukan/>



佐野市文化協会

当協会は、平成17年の佐野市、田沼町、葛生町の合併に伴い、旧市町の文化協会を統合し結成されました。平成29年度末現在23部門94団体1,570名の会員から成り、市民文化祭を初めとして市内外で様々な活動を行っております。

団体としての文化協会の活動は、会員間の芸術活動の交流はもとより、他の市内文化団体と連携し、伝統文化や郷土芸能の育成支援・文化財の保護等を行政へ働きかけております。他にも、子供達の文化環境の改善や、文化・芸術活動の場と機会の提供、文化活動を担う市民や文化団体の育成にも積極的な提言し、佐野市民が文化に親しめる環境づくりに取り組んでおります。



また、文化協会の活動をより多くの方に知って頂き、体験して頂く事業として小・中学校への出前講座、イオンモールや市役所南の市民ギャラリーでの展示・公演を実施し、積極的なPRを進めており、今年の9月には協会ホームページを開設し、さらに情報発信を進めていく予定です。

文化協会では、随時会員の募集しております。興味のある方はどうぞ事務局までご連絡ください。



今からでも間に合います 事業団の事業に参加してみませんか？

(公財)佐野市民文化振興事業団
〒327-8501
栃木県佐野市高砂町1番地
(佐野市役所3F文化立市推進課内)
TEL 0283-20-3044
FAX 0283-20-3029

第7回わいわいギャラリー (アートマネジメント講座)

☆アーティストと気軽にお話をしてみませんか？
☆第6回わいわいギャラリーでは、江尻 潔さん
(足利市立美術館次長)をゲストにお迎えしました。



★文化サロンさの。とは？

(公財)佐野市民文化振興事業団が開催した「アートマネジメント講座」受講生たちによる任意団体。その団体が企画・運営する実践事業がわいわいギャラリーです。この事業は「佐野市にずっと暮らし続けたい」と感じられる街づくりをしよう、未来に向かって子どもたちの文化環境を耕すことから始めよう、のコンセプトでスタートしています。



詳細は広報さのにてお知らせします

美術鑑賞・舞台裏方ツアー

市内の美術館と普段見ることのできない舞台裏方を見学します。
各美術館では、学芸員による解説付です。



と き 11/13(火)午後1時～5時(予定)
集 合 佐野市文化会館
募 集 市内にお住まいの方40名(抽選)
9/28(金)までの消印有効
※このページの「イベント応募方法」にてご応募ください。

参加費 1,000円(保険代等として)

行 程 安藤勇寿「少年の日」美術館→葛生あくとプラザ(舞台裏方見学)→吉澤記念美術館→佐野東石美術館



文楽鑑賞教室

国立劇場で、解説付きの文楽鑑賞教室に参加します。
添乗付きの大型バスでご観覧いただけます。

と き 12/6(木)午前8時10分出発～午後4時帰着(予定)
と ころ 国立劇場 小劇場(東京)
演 目 9月中旬に決まります(国立劇場ホームページ掲載予定)
集 合 佐野市文化会館
募 集 市内にお住まいの方40名(抽選)
※このページの「イベント応募方法」にてご応募ください。
※7月の歌舞伎鑑賞教室に参加された方は、応募をご遠慮下さい。
9/26(水)までの消印有効
参加費 5,000円(鑑賞料、昼食代等込み)

イベント応募方法

往復はがきにて下記の通り必要事項を記入してください。
必ず希望のイベント名のご記入をお願いします。

郵便番号はがき 327-8501 佐野市高砂町1 (公財)佐野市民文化振興 事業団事務局 行 返信裏面 こちらには何も書かないでください 抽選結果を印字しますので何も書かない!!	返信表面 あなたの郵便番号・住所・氏名を記入してください ①氏名 (1枚のはがきで2名様まで応募ができます) ②住所 ③電話番号 ④年齢 ⑤事業名 事業ごとに応募してね。
--	---

※複数枚での応募は「落選」とさせていただきます。
※熱で消えてしまうペンでの記入はしないで下さい。
(抽選結果をコピー機で印字する時に消えてしまいます。)

編集後記

平成三十年五月に理事長以下、役員等が改選が行われ、当事業団も新たな体制となりました。引き続き市民の芸術・文化活動の振興や文化的環境の整備を図るため、努力して参ります。今後とも更なるご支援ご協力をいただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

評議員・役員一覧(順不同)

評議員 岩田 嘉郎	理事 片岡 展男	監事 旭岡 宏靖	監事 池田 行人	監事 寺岡 篤	評議員 阿部 貴子	評議員 宇野 重吉	評議員 宇野 重吉	評議員 宇野 重吉	評議員 宇野 重吉
上岡 幸宏	小岩 野船	國分 柳井	島田 白澤	松田 林保	白澤 小川	落合 佐野	岡部 矢佐	大島 藤声	三 堅武
幸宏	哲三	展嘉	太代	内郎	幸治	紀 貴子	正正	行英	三 堅武